

## 大学生・大学院生対象英語検定試験 中国の場合

井上裕子\*

TEM and CET

Yuko Inoue \*

*Received October 31, 2002*

### 1. はじめに

平成13年9月10日から9月17日にかけて中国の大学における英語教育事情を視察してきた。視察した大学は北陸大学の姉妹校・友好校である大連外国語学院, 上海外国語大学, 蘇州大学である。授業参観, 現地教員との意見交換, 使用テキスト等を通して中国の大学英語教育のレベルの高さを痛切に感じた。英語専攻の学生は卒業後すぐに英語のプロとして活躍する。大学はプロ養成機関ともいえる。まさに, 中国式は一朝にして出来たものではなく, 大学や政府などが一体となって教科書統一や教師用マニュアルなどを含む大きなシステムを作り上げた結果(潮, 2001)といえる。その背後に日本の学習指導要領に当たる「教育大綱」がある。「教育大綱」には初等教育から高等教育に至る教育課程の基準が詳細に示され, その拘束力も強い。大学のカリキュラム, 教科書, 検定試験などは全て「教育大綱」を基準に作成されている。エリート養成機関ともいえる中国の大学の卒業基準は非常に厳しい。その基準の一つに在学中に合格しなければならない英語検定試験がある。本稿では中国の高等教育機関に採り入れられている英語検定試験について分析を試みる。

### 2. 中国におけるTEMとCETの取り扱い

#### (1) TEM

1992年度より実施されているTEM (Test for English Majors) は英語を専攻する大学2年生と4年生を対象にした全国统一英語試験である。2年生には4級, 4年生には8級の受験が課せられる。TEMの成績結果を成績全体の30~40%に組み込んでいる大学もある。特に8級については英語専攻学生の学位取得要件としていない大学もあるが, 就職に有利ということで各大学とも高い合格率を出している<sup>(1)</sup>。英語専攻の学位取得要件は卒業論文(英語)審査合格・全国统一コンピュータ検定試験2級合格又は地域が主催するコンピュータ試験2級合格・

---

\* 外国語学部  
Faculty of Foreign Languages

TEM 4 級（大学によってはTEM 8 級）合格である。また、各学年の履修科目において 1 科目以上の不可を出し、卒業時までには累積不可科目が 4 科目以上ある場合、学位取得は不可能となる。

尚、TEM が導入される以前に中国国内で統一された英語検定試験（CET を除く）はなく、TOEFL 受験が主流となっていた。国内に統一された検定試験を設けることによりレベルの確認とレベルの統制が図られたようだ。TEM 導入時には、8 級不合格者が多数出たため大学で独自の英語試験を実施し学位を与えた事例がある<sup>(2)</sup>、TEM 導入後、学生の英語力に特に変化は見られなかったという報告もある<sup>(3)</sup>。

TEM 受験資格：英語専攻の学部生

4 級は 2 年生を対象とする

8 級は 4 年生を対象とする（3 年次に取得する学生もいる）

TEM 試験実施：各級とも年一回

4 級は 5 月に実施

8 級は 3 月に実施（Part 1～3：午前 8 時 30 分～）

（Part 4～5：午後 2 時～）

TEM 受験料：授業料に含まれる

TEM 合格基準：100 点満点中 60 点以上が合格

## （2）CET

1987 年度から実施されている CET（College English Test）には 4 級と 6 級がある。4 級は英語以外の専攻の学部生（一部 3 年制短大学生）を対象にした試験である。6 級は大学院入学の条件として要求される。大学院入学希望者は入学前に CET 6 級を合格しておくか、大学院入試の際に CET 6 級も受験し合格しなければならない。

近年、CET 4 級レベルの試験では不十分ということから北京大学などの重点大学ではさらにレベルの高い独自の試験を実施している。また、国際関係・国際経済・貿易・外交等を専攻する学生には CET 6 級合格が要求される。非英語専攻の学位取得要件は CET 4 級（又は CET 6 級）合格・卒業論文審査合格・全国統一コンピュータ検定試験 2 級又は地域が主催するコンピュータ試験 2 級合格である。また、各学年の履修科目において 1 科目以上の不可を出し、卒業時までには累積不可科目が 4 科目以上ある学生の学位取得は不可能となる。

CET 4 級受験資格：非英語専攻の学部生および一部短大生

大学在学中に受験

CET 6 級受験資格：大学院進学希望者・国際関係・国際経済等を専攻する学部生

CET 試験実施：年 2 回（1 月・6 月）

CET 受験料：20 元（約 300 円）

CET 合格基準：100 点満点中 60 点以上が合格

### 3 . TEMとCETの問題形式と配点

#### ( 1 ) TEM

( a ) 4 級の場合 : 全所要時間145分

Part 1 ( 45分 ) Writing ( 記述式 )

Section A: Composition (150 words)

Section B: Note-Writing (50-60 words)

Part 2 ( 15分 ) Dictation ( 記述式 )

Part 3 ( 20分 ) Listening Comprehension ( 多肢選択式 )

Section A: Statement

Section B: Conversation

Section C: News Broadcast

Part 4 ( 15分 ) Cloze test ( 多肢選択式 )

Part 5 ( 20分 ) Grammar & Vocabulary ( 多肢選択式 )

Part 6 ( 30分 ) Reading Comprehension ( 多肢選択式 )

Section A: Reading Comprehension Text A-Text D (4 different texts)

Section B: Skimming & Scanning Text E-Text J (6 different texts)

Part 1	Part 2	Part 3	Part 4	Part 5	Part 6
20点	15点	15点	10点	15点	25点

( b ) 8 級の場合 : 全所要時間215分

Part 1 ( 40分 ) Listening Comprehension

Section A: Talk ( 多肢選択式 )

Section B: Interview ( 多肢選択式 )

Section C: News Broadcast ( 多肢選択式 )

Section D: Note-Taking & Gap Filling ( 記述式 )

Part 2 ( 15分 ) Proofreading & Error Correction ( 記述式 )

Part 3 ( 40分 ) Reading Comprehension ( 多肢選択式 )

Section A: Reading Comprehension Text A-Text D (4 different texts)

Section B: Skimming & Scanning Text E-Text J (6 different texts)

Part 4 ( 60分 ) Translation ( 記述式 )

Section A: Chinese into English

Section B: English into Chinese

Part 5 ( 60分 ) Writing (300 words) ( 記述式 )

Part 1	Part 2	Part 3	Part 4	Part 5
25点	10点	25点	20点	20点

**(2) CET**

(a) 4級の場合：全所要時間120分

Part 1 (20分) Listening Comprehension

Section A: 10 short conversations (多肢選択式)

Section B: 3 passages (多肢選択式) or Compound Dictation (記述式)

Part 2 (35分) Reading Comprehension (多肢選択式)

Part 3 (20分) Vocabulary &amp; Structure (多肢選択式)

Part 4 (15分) Short Answer Question (記述式) or Cloze (多肢選択式) or Translation (記述式)

Part 5 (30分) Writing (100 words) (記述式)

Part 1	Part 2	Part 3	Part 4	Part 5
20点	40点	15点	10点	15点

(b) 6級の場合：全所要時間120分

Part 1 (20分) Listening Comprehension

Section A: 10 short conversations (多肢選択式)

Section B: 3 passages (多肢選択式) or Compound Dictation (記述式)

Part 2 (35分) Reading Comprehension (多肢選択式)

Part 3 (20分) Vocabulary &amp; Structure (多肢選択式)

Part 4 (15分) Short Answer Question (記述式) or Translation (記述式) or Cloze (多肢選択式) or Error Correction (記述式)

Part 5 (30分) Writing (100~150 words) (記述式)

Part 1	Part 2	Part 3	Part 4	Part 5
20点	40点	15点	10点	15点

**4. TEM・CETと実用英語技能検定試験(英検)との比較****(1) 英検1級とTEM8級の比較**

(a) 語彙・熟語・文法

TEM8級には英検1級に出題されているような短文の語句空欄補充式語彙・熟語の問題はない。代わりに長文の校正とエラー訂正がある。文中から10箇所のエラーを見つけ、指示に従い校正を入れる。エラーは(1) For a wrong word, (2) For a missing word, (3) For an unnecessary wordの3種類である。この設問では文脈に沿って語法・語彙の訂正をしていく。中途半端な文法知識では到底解けない問題である。

(b) 読解

長文の内容一致選択問題については英検1級の問題とさほど変わらない。TEMに出題される独特の問題としてスキミング・スキニングのパートが挙げられる。このパートでは10分間

M=multiple-choice W=written answer

	英検 1 級		TEM 8 級	
語彙数	10,000語 ~ 15,000語		8,000語 ~ 10,000語	
	1 次全所要時間130分	問題数	全所要時間215分	問題数
筆記	( 100分 )		( 175分 )	
語彙	短文の語句空所補充 ( M )	30問	長文の校正とエラー訂正 ( W )	10問
熟語				
文法力				
読解力	長文の語句空所補充 ( M )	10問	長文の内容一致選択 ( M )	15問
	長文の内容一致選択 ( M )	10問	Skimming & Scanning ( M )	10問
作文力	日本語要約 ( W )	1 問	中国語訳 ( W )	1 問
	英語要約 [ W ] 80-100 words ]	1 問	英語訳 ( W )	1 問
			課題エッセー ( W ] 300 words ]	1 問
リスニング	( 30分 )		( 40分 )	
	Dialogs ( M ) 10	10問	Passage ( M ) 1	5 問
	( 会話の内容一致選択 )			
	Passages ( M ) 5	10問	Interview or Conversation ( M ) 1	5 問
	( 文の内容一致選択 )			
	Interview ( W ) 1	2 問	News Broadcast ( M ) 1	5 問
	( 内容一致記述 )			
	Passage ( W ) 1	2 問	Note-Taking & Gap-Filling ( W ) 1	20問
	( 内容一致記述 )			
スピーキング	2 次個人面接10分		実施は大学の裁量に任せら	
	日常会話	1 ~ 2 分	れている。	
	トピック選択	1 分	独自のスピーキングテスト	
	スピーチ	2 分	を実施している大学もある。	
	質疑応答	3 ~ 4 分		

に3000語の速さが要求される。まさに時間との勝負である。質問事項の後にテキストを読ませるように構成されている。

( c ) 作文

TEM 8 級には英文から中国語への要約問題はないが、英語から中国語、中国語から英語の翻訳がある。さらに 1 時間以内に300語の英文でまとめるライティングの問題がある。この設問はTOEFLのTWEに類似している。

( d ) リスニング

リスニングのパートでは 1 分間に140 ~ 170語の速さの英語を理解する力が要求される。問題はBBCやVOA等から出題される。その他にミニ講義を聴き正確にメモが取れるかをみる設問がある。

## (e)スピーキング

スピーキングテストは、大学により実施しているところもあればそうでないところもある。

必要語彙数に関しては英検1級の方が上回るが、全体的にTEM8級はTOEIC、TOEFL等様々な形式の問題を網羅しており、いかなる英語の試験にも十分耐えうる非常にレベルの高い試験である。まさにプロとして社会へ送り出すにふさわしい試験と言える。

## (2)英検準1級とTEM4級の比較

M=multiple-choice W=written answer

	英検準1級		TEM4級	
語彙数	7,500語		5,000語～6,000語	
	1次全所要時間110分	問題数	全所要時間145分	問題数
筆記	(90分)			
語彙	短文の語句空所補充(M)	30問	短文の語句空所補充(M)	25問
熟語				
文法力				
読解力	長文の語句空所補充(M)	10問	長文の語句空所補充(M)	15問
	長文の内容一致(M)	10問	長文の内容一致(M)	15問
			Skimming & Scanning(M)	10問
作文力	段落中の語句整序	5問	Composition(W)[150 words]	1問
			Note-Writing(W)[50～60 words]	1問
リスニング	(20分)		(35分)	
	会話の内容一致(M)13	13問	Dictation(W)1	1問
	文の内容一致(M)6	12問	Statement(M)9	9問
			Short Conversation(M)7	7問
			News Broadcast(M)3～4	9問
スピーキング	2次個人面接8分		実施は大学の裁量に任せられている。	
	日常会話		独自のスピーキングテスト	
	カード(4コマの絵)の	1分	を実施している大学もある。	
	ナレーション準備			
	ナレーション	1～2分		
	質疑応答	4問		

## (a)語彙・熟語・文法

TEM4級のGrammar & Vocabularyの問題には英検準1級に類似した語彙・イディオムの問題の他に、やや難解な文法・語法の問題も含まれる。英検1級に近いレベルの問題も含まれている。

## (b)読解

読解問題には長文のclozeの問題の他に内容確認空所補充問題がある。また8級同様にスキ

ミング・スキニングの問題が含まれる。4級では5分間で900語の速さが要求される。

(c) 作文

TEM 4級には英検のような空欄の語句整序の問題はない。全て記述式である。ライティングには2つのセクションがある。一つは35分以内に150語の英文でまとめる作文である。書き方が指示されておりTOEFLのTWEに類似している。もう一つは与えられた状況に基づいて50～60語の英語でまとめる課題である。例えば、「中古自転車売りたい。自転車の状態について説明し、希望価格・連絡先などを盛り込む」といったものがある。

(d) リスニング

リスニングの問題はTOEFLの短い会話・BBC・VOA等から出題される。8級のミニ講義メモの代わりに4級では100語～120語の英語の書き取りが含まれる。

(e) スピーキング

スピーキングテストは、大学により実施しているところもあればそうでないところもある。大学独自のスピーキングテストを実施しているところもあり、今のところ統制は取られていない。

必要語彙数に関しては英検準1級の方が1,500語程度上回るが、問題の量・種類に関してはTEM 4級が圧倒的に多い。難易度は英検準1級に近い。

### (3) 英検2級とCET4級・6級の比較

(a) 語彙・熟語・文法

CET 4級は英検2級に比べ必要語彙数は少ないものの、熟語などの問題は2級より難解なものが多い。例えば、take to, take up, take for, take on や give in, give off, give out, give away のように基本動詞を使った紛らわしいものが出題される。CET 6級の語彙問題は英検準1級に類似している。例として、ascribe, describe, subscribe, prescribe や puzzled, perplexed, bewildered, confused などがある。また、CET 6級ではTEM 8級と同様に長文の校正とエラー訂正問題が出題される場合がある。

(b) 読解

CETの読解問題には第1部に出題される4つのパッセージからなる多肢選択式問題と第2部に出題される記述式問題がある。第2部の読解問題は問題の種類の組み合わせにより出題される場合とされない場合がある。第1部の読解問題のパッセージは300語以上からなり、これは英検2級よりもおよそ100語多い。読解問題の量は格段に英検2級よりも多い。

(c) 作文

CET 4級には翻訳の設問はないが、CET 6級には中国語から英語への翻訳が出題される場合がある。また、TEMと同様にTOEFLのTWEに類似したライティングの問題がある。4級は100語～120語を、6級は120語～150語の英文を指示に従いそれぞれ30分以内にまとめなければならない。

(d) リスニング

CET 4級・6級ともに英検準1級に類似した短い会話文の内容一致問題が出題されている。その他にパッセージを3回聞いて空欄に単語あるいは文章を記入する記述式問題と3つのパッ

M=multiple-choice W=written answer

	英検 2 級		CET 4 級		CET 6 級	
語彙数	5,100語		4,000語		6,000語	
	1次全所要時間75分	問題数	全所要時間120分	問題数	全所要時間120分	問題数
筆記	(65分)					
語彙	短文の語句空所補充 (M)	25問	短文の語句空所補充 (M)	30問	短文の語句空所補充 (M)	30問
熟語					*長文の校正と エラー訂正 (W)	10問
文法力						
読解力	長文の語句空所補充 (M)	10問	長文の内容一致 (M)	20問	長文の内容一致 (M)	20問
	2 passages		4 passages		4 passages	
	長文の内容一致 (M)	10問	*長文内容一致 (W)	5 問	*長文内容一致 (W)	5 問
	2 passages		1 passages		1 passages	
			*Cloze (M)	10問	*Cloze (M)	10問
			*翻訳	5 問	*翻訳	5 問
			(英語から中国語)		(英語から中国語)	
作文力	段落中の語句整序	5 問	Composition (W)	1 問	Composition (W)	1 問
			[100-120 words]		[120-150 words]	
			*印から 2 種類出題		*印から 2 種類出題	
リスニング	(15分)		(20分)		(20分)	
	会話の内容一致 (M) 3	10問	会話の内容一致	10問	会話の内容一致	10問
			Short Conversation (M) 10		Short Conversation (M) 10	
	文の内容一致 (M) 6	10問	*内容一致	10問	*内容一致	10問
			Passages (M) 3		Passages (M) 3	
			*Compound	10問	*Compound	10問
			Dictation (W)		Dictation (W)	
			*印から 1 種類出題		*印から 1 種類出題	
スピーキング	2次個人面接 8分		グループ(3名)面接20分		グループ(3名)面接20分	
	日常会話	1分	日常会話	1分	日常会話	1分
	カード(文章)の黙読	20秒	ピクチャーカード	4分30秒	ピクチャーカード	4分30秒
	カード(文章)の音読		を使いディスカッ ション		を使いディスカッ ション	
	質疑応答	5 問	質疑応答	14分30秒	質疑応答	14分30秒
			*実施は大学による		*実施は大学による	

セージを聞いて内容と一致する答えを選ぶ選択肢問題がある。

#### (e) スピーキング

CETのスピーキングテストは英検2級に類似している。但し、個人面接方式ではなくグループ面接方式で行われる。面接官は2人。最初の1分は自己紹介と面接官との自由会話となる。

次にキーワードが入ったピクチャーカードが渡され、受験者3人はそれについて4分半のディスカッションを行う。残りの14分半は面接官との質疑応答となる。スピーキングテストの実施に関しては目下各大学の裁量に任せているようだ。

CET 4級・6級とも問題数・問題の種類のみでは英検2級をはるかに上回る。必要語彙数に関しては英検2級の方がCET 4級よりも1,000語以上多いものの、総合的に判断するとCET 4級の方が難易度は高いようだ。

#### 4. まとめ

中国の大学（民営大学を除く）では、英語専攻の学生にはTEMを、非英語専攻の学生にはCETの受験を義務付けている。また、特定の級の合格を卒業要件としている。これにより大卒者の一定の英語力が保たれる。この中国独自の英語統一試験TEMおよびCETは様々な工夫が施されている。特に読解問題の量・種類と作文等の記述式問題の量の多さには目を見張る。また、ミニ講義を聞かせ正確にメモが取れるかをみる設問は、講義科目が英語で行われる現状に即したものである。TEMおよびCETの問題は全て国の「教育大綱」に基づいている。「教育大綱」に基づいたカリキュラム・テキスト選定・現場の教員の徹底した指導・学生の学習意欲が中国の大学英語教育の成功の要因と言える。

一方、日本の文部科学省は平成14年7月に『『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想』を発表した。その中で文部科学省は「各大学が、仕事で英語が使える人材を育成する観点から、達成目標を設定」することを提案している一方で「優れた英語教育カリキュラムの開発・実践等を行う大学や、特に全課程を英語で授業する大学（又は学部）を重点的に支援」する意向を述べている。大衆化・多様化する日本の大学の現状を考えると、中国方式をそのまま日本の全ての高等機関に導入することは困難のように思えるが、参考にするべき点は多い。

（注）本稿は、2002年6月大学英語教育学会中部支部大会（名古屋）において発表したものを更に発展させたものである。

#### 謝 辞

中国のTEM・CETおよび高等教育についての最新情報を収集するにあたって、北陸大学外国語学部英米語学科に在籍の屈莉さん（中国出身）には多大な協力を戴きました。また、蘇州大、李勇助教授にも貴重な情報を提供して戴きました。心より感謝致します。

#### 註

- (1) 近年のTEM 8級合格実績
- |         |        |
|---------|--------|
| 大連外国語学院 | 90.5%  |
| 上海外国語大学 | ほぼ100% |
| 蘇州大学    | 75%    |
- (2) 蘇州大学が当初そうであった。  
 (3) 大連外国語学院の教員との意見交換の場でこのような報告を受けた。

## 参考文献

- A New English Course 1 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 1 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 1 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New Guide to TEM 4 (2001) Shanghai Foreign Language Education Press  
 A New Guide to TEM 8 (2001) Shanghai Foreign Language Education Press  
 New Concept English - Developing Skills Students' Book 3 (1997) Longman Asia limited, Hong Kong.  
 New Concept English - Fluency in English Students' Book 4 (1997) Longman Asia limited, Hong Kong.  
 Simulated Tests for English Majors - Grade 4 2001 ~ 2002 中国人口出版社  
 Simulated Tests for English Majors - Grade 8 2001 ~ 2002 中国人口出版社  
 「STEP英語情報 The Latest on English 2001 7・8」日本英語検定協会  
 井上裕子 (2002) 「中国の大学英语教育の実態」『北陸大学紀要』第25号 pp. 197 ~ 208 北陸大学  
 潮 昭太 (2001) 「中国英語教育視察参加感想文」『中国英語教育視察報告書』北陸大学外国語 pp.20 ~ 21  
 大学英语4級考試予測試卷 2002 最新版 主編 候成源 当代中国出版社  
 大学英语6級考試予測試卷 2002 最新版 主編 候成源 当代中国出版社  
 日本英検協会 「試験概要」 <http://www.eiken.or.jp/>  
 文部科学省 「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想の策定について英語力・国語力増進プラン」  
<http://www.mext.go.jp/menu/shingi/chousa/shotou/020/sesaku/02702.htm>

## 参考文献

- A New English Course 1 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 1 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 1 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 2 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 3 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Teacher's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Student's Book (1999) 上海外語教育出版社  
 A New English Course 4 - Workbook (1999) 上海外語教育出版社  
 A New Guide to TEM 4 (2001) Shanghai Foreign Language Education Press  
 A New Guide to TEM 8 (2001) Shanghai Foreign Language Education Press  
 New Concept English - Developing Skills Students' Book 3 (1997) Longman Asia limited, Hong Kong.  
 New Concept English - Fluency in English Students' Book 4 (1997) Longman Asia limited, Hong Kong.  
 Simulated Tests for English Majors - Grade 4 2001 ~ 2002 中国人口出版社  
 Simulated Tests for English Majors - Grade 8 2001 ~ 2002 中国人口出版社  
 「STEP英語情報 The Latest on English 2001 7・8」日本英語検定協会  
 井上裕子(2002)「中国の大学英语教育の実態」『北陸大学紀要』第25号 pp.197~208 北陸大学  
 潮 昭太(2001)「中国英語教育視察参加感想文」『中国英語教育視察報告書』北陸大学外国語 pp.20~21  
 大学英语4級考試予測試卷 2002 最新版 主編 候成源 当代中国出版社  
 大学英语6級考試予測試卷 2002 最新版 主編 候成源 当代中国出版社  
 日本英検協会「試験概要」<http://www.eiken.or.jp/>  
 文部科学省「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想の策定について英語力・国語力増進プラン」  
<http://www.mext.go.jp/menu/shingi/chousa/shotou/020/sesaku/02702.htm>